

長岡市長記者会見要旨

日 時：令和2年5月1日（金）午後2時から

会 場：アオーレ長岡東棟4階 大会議室

【会見項目：新型コロナウイルス感染症対策として

補正予算を5月1日付で専決処分】

（市長）

資料No. 1の新型コロナウイルス感染症対策として本日付で行った補正予算の専決処分について説明します。新型コロナウイルス感染症対策のために特別定額給付金の給付など、早急に着手・実施する必要がある事業の経費として、総額269億6,389万4,000円を5月1日付で専決処分により予算措置いたしました。

専決処分の内訳について、一つ目は、特別定額給付金の給付事業費として、269億5,089万4,000円です。二つ目は、長岡商工会議所青年部が、新型コロナウイルス感染症の影響で経営に支障を来した事業者等を応援するために実施する「やっぱり好きんが長岡 未来応援プロジェクト」の事業補助金として、300万円です。三つ目は、PCR検査センターの立ち上げを支援する事業費として、1,000万円となっています。

資料No. 1-1の特別定額給付金の申請受け付け開始について説明します。長岡市は、本日から特別定額給付金の申請受け付けを開始しました。申請は、マイナンバーカードを所持している方がマイナポータル上から申請を行うオンライン申請方式、市から送付する申請書に必要事項を記入して郵送する郵送申請方式のほかに、一刻も早く給付金を必要とされる方のために市ホームページから申請書をダウンロードして申請する申請書ダウンロード方式の三つの方式で受け付けます。

申請書ダウンロード方式とオンライン申請方式は、本日から申請受け付けを開始し、5月12日からの支給開始を予定しています。郵送申請方式は、5月20日に市から申請書を発送し、5月25日から申請受け付けを開始、6月4日から支給開始を予定しています。申請期間はいずれの方式も8月24日までです。また、新型コロナウイルス感染防止のため、手続きの窓口は開設いたしません。

資料No. 1-2のPCR検査センターの立ち上げ支援について説明します。長岡保健所管内のPCR検査センター設置については、県が長岡市医師会に運営を委託することで協議が進められているところですが、長岡市としては早期立ち上げに向けて、設置場所の提供、運営補助を行う市職員の動員のほか、防護服やマスクなどの医療用具の提供や、PCR検査従事者向けの研修などに必要な経費1,000万円を支援します。

このPCR検査センターの設置により、長岡地域においては、1日10件程度が上限と思われるこれまでの検査体制から、3倍の1日30件程度の検査ができる体制になるのではないかと期待しており、検査体制の増強が、感染のまん延防止、基幹病院の負担軽減、院内感染の防止となり、感染が拡大した時の医療崩壊防止に大きな効果があると考えています。

また今後、長岡市としては、発熱外来や、軽症患者の受け入れ施設の設置についても積極的に働きかけや支援をしていきたいと思っています。

最後に、同時リリースの新型コロナウイルス感染症の総合案内窓口設置について説明します。これは、新型コロナウイルス感染症に関係することで聞きたいことがあるが、どこに聞いたらいいかが分からないという声が多いことを受けて、市民の不安や疑問を解消するために、市民窓口サービス課内に総合案内窓口を開設するものです。平日の開設時間は、午前8時30分から午後7時までで、午後5時15分から午後7時までは電話相談のみ受け付けします。

あわせて、感染症対策の一環として、一般窓口の平日開設時間を午後5時15分までに短縮します。これは、市民の活動時間の短縮や、市職員の分散勤務、新型コロナウイルス関連業務へのシフトなどを図るためです。

(記者)

PCR検査センターは、いつ、どこに設置する予定ですか。

(市長)

時期は、5月の早い時期に具体的に発表できるようになるといいと思っています。

場所は、旧長岡市内ですが、県の方針で、感染の可能性のある方が行くということに配慮して非公開となっています。

(記者)

PCR検査の件数が1日10件程度から30件程度になるというのは、長岡市内の件数ですか。

(市長)

そうです。検体採取の可能件数について、おおむねその程度の件数だと聞いています。

(記者)

市民の方には、特別定額給付金をどのように利用して欲しいと考えていますか。

(市長)

市民の皆さまそれぞれの事情や思いに応じて、有効に使っていただき、新型コロナウイルス感染症の影響を切り抜けていただければと思っています。

(記者)

緊急事態宣言が延長された場合、追加の経済対策などは考えていますか。

(市長)

国の持続化給付金の給付が始まりますので、今後の状況を見極めていきたいと思っておりますが、これまで受けている相談などからは、支援を早く届けるスピードが重要だと考えています。当面は、現在実施している支援を迅速に進めることが課題だと認識しています。

(記者)

特別定額給付金給付事業費の内訳を教えてください。

(特別定額給付金室長)

269億5,089万4,000円のうち、郵送代や振込手数料を含む事務費が1億5,089万4,000円、給付金が268億円です。

(記者)

特別定額給付金の申請書類を世帯主へ送付すると、虐待やDVで別居している人達に届かないという問題がありますが、長岡市の対策を教えてください。

(市長)

長岡市配偶者暴力支援センターにご相談いただければ、適切に給付金を受け取れるように対処いたします。

(記者)

長岡市内の新型コロナウイルス感染症の感染の状況をどう考えていますか。

(市長)

PCR検査も順調に実施できていると医師会から伺っており、市中感染が広がっている認識は全く持っておりません。

(記者)

長岡市で市中感染が発生しないと推察される場合、大型連休明けに長岡市の判断で小中学校を再開することも考えられますか。

(市長)

そういうことも考えられますが、学校の感染防止対策や、市中感染の状況を踏まえた再開の指標がない中での判断は難しいと思っております。

(記者)

緊急事態宣言が全国に拡大された際に、県から県内市町村へ小中学校の自粛要請があり、市町村としては受けざるをえなかったと思いますが、県に対して市町村の判断に委ねてほしいなどの要望はありますか。

(市長)

基本的には、市立小中学校の設置者は長岡市なので、長岡市教育委員会が判断して長岡市長が認めれば、再開することはできます。ただし、感染症の問題は長岡市だけが少なければよいということではないので、県全体の動きを踏まえながら検討する必要があると思っております。

(記者)

緊急事態宣言が延長された場合に、県から同じように小中学校の自粛要請があったとしても、市で検討したうえで判断するというのでしょうか。

(市長)

はい。休校の判断とともに、登校日を設けるなどの工夫もしていきたいと考えています。

(記者)

学校の遠隔授業を検討するなかで、インターネット環境がない家庭があるなどの問題がありますが、今後、オンライン教育支援へ取り組む予定や、具体的に予算化するなどの考えはありますか。

(市長)

インターネット環境の整備については、ルーターなどの機器の不足や、接続料金をどうするかなど課題がありますので、工夫をしながら、今ある条件の中でできることからやりたいと思っています。

(記者)

臨時休館している公共施設の再開について、いつ、どのような条件が整えば再開すると考えていますか。

(市長)

現在5月6日まで臨時休館している367の市有施設の再開については、大型連休中の感染拡大の動向や、県の方針などを踏まえて判断したいと思っています。

(記者)

長岡市が市内事業者約5,000社に行った、新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート調査の集計結果を教えてください。

(商工部長)

現在、約650社分の回答があり、大型連休明けを目途に速報として集計結果を出したいと思っています。